

概要

宗名	浄土真宗本願寺派
本山	龍谷山 本願寺（西本願寺）
山号・寺号	豊饒山 順光寺（ほうじょうざん じゅんこうじ）
本尊	阿弥陀如来
宗祖	親鸞聖人
所属	浄土真宗本願寺派 山陰教区 松江組
法人名	宗教法人順光寺
代表役員	ながたに 饒 純吾（第18世住職）
所在地	〒690-0881 島根県松江市石橋町 44
電話番号	0852-23-3718
FAX 番号	0852-67-3276

沿革

順光寺所蔵の「順光寺史」によると、約800年前、現松江市上大野町に教音法師が天台宗の草庵をむすんだのが開基とされている。1576（天正4）年、川津村菅田（現松江市菅田町）に移転した（この頃に浄土真宗に改宗）。その後、慶長年間、現在の石橋の地に移転した（当時の寺号は「順光明寺」）。

寛永15年、松平直政が松江藩主として出雲国に入国。直政の家老の一人、神谷備後（神谷源五郎富次）は母子ともに熱心な真宗門徒であった。入国の際、松江城にほど近い石橋の地に、順光明寺という移転したばかりで寺基が整っていない真宗寺院があることを知った神谷備後は、私財を投じて改築した。この時、寺号を「順光寺」と改めた。

神谷備後は、仰誓編『妙好人伝』（第二）に雲州松江大夫神谷氏祖として記されている。順光寺の境内には、初代神谷備後夫妻の墓碑・神谷家累代の墓がある。

江戸時代には寺子屋があり、明治期になると順光寺に教導所が置かれた（現在の松江市立城北小学校の前身のひとつ）。

現在の本堂は元禄年間に建立したもの。鳥取市にある真宗寺院から、本堂建立のため不要となった建物を譲り受けて再建した。

1958（昭和33）年に本堂山門を修理、1974（昭和49）年に庫裏を新築。1985（昭和60）年に屋根替え工事を竣工。

2009（平成21）年、庫裏の改修・増築工事を行い、親鸞聖人750回大遠忌法要と併せて落成慶讃法要を執り行った。

2019（令和元）年秋、屋根替え・耐震補強など、本堂の大幅な改修工事を行い、11月に本堂改修落成慶讃法要・住職継職奉告法要を執り行った。



アクセス

順光寺の参道は、城下町の佇まいを残す石橋町の表通りに面しています。
順光寺の掲示板と「石橋3丁目」のバス停が目印です。



近隣の観光地

松江城	全国で現存する12天守の一つ。平成27年7月に国宝に指定された。
堀川遊覧船	松江城のお堀を小船でめぐる。船頭の軽妙なガイドを聞きながら、城下町の風情を楽しめる。
宍道湖	日本で7番目の大きさの湖。湖面の向こうに沈む美しい夕陽は、日本夕陽百選に選ばれている。



浄土真宗
本願寺派

順光寺

揮毫：細田青秀 氏（順光寺ご門徒）

浄土真宗本願寺派 順光寺

〒690-0881 島根県松江市石橋町 44

TEL: 0852-23-3718

FAX: 0852-67-3276

E-mail: info@junkouji.net

公式サイト: <https://junkouji.net>

順光寺

検索

f junkouji.matsue

@junkouji

junkouji_matsue

2021年12月1日作成



浄土真宗本願寺派

順光寺



順光寺 本堂（2019年改修工事後）



松江城下の「聞法道場」

順光寺は、松江の城下町の一角・石橋町に寺基をかまえる、浄土真宗本願寺派の寺院です。松江市内を中心に、広い範囲にご門徒がおられます。

歴史の息吹を感じるロケーションにあり、国宝・松江城をはじめ、武家屋敷・明々庵などの史跡に、徒歩で行ける範囲にあります。

石橋町は江戸期に職人の町として栄えた町です。街道の入口でもあったことから多くの人で賑わい、当時から順光寺は地域の人々の心の拠り所でした。その歴史と伝統を受け継ぎ、今もなお、年間を通してさまざまな法要・行事を行っています。

浄土真宗の寺院は「聞法の道場」。この私が、「如来さまに願われている」ことに気づかせていただくところです。忙しい毎日を送る中でちょっと立ち止まり、順光寺にお参りしてみませんか。

城下町の風情の残る石橋町の街並と、順光寺本堂の屋根（写真中央）。江戸時代は順光寺の屋根の高さが周辺建物の建築基準とされた。



本堂

ご本尊・阿彌陀如来さまがおられる本堂です。ここで仏事を執り行います。外陣（参拝される方の礼拝の場所）は60畳の広さがあります。
※椅子席もご用意できます。



仏間

8畳二間の和室です。ご法事のお斎（おとき）にお使いいただけます。キッズスペースとしてもご利用ください。



駐車場

本堂の裏側に、10台程度のお車を停められる駐車場があります。また、参道（山門前の道）にも数台の駐車スペースがあります。



年間行事

1月 元旦会

毎年1月1日、年の初めに御仏前にお礼をし、心を新たにします。

3月 春彼岸・永代経法要

故人を縁として、お寺にお参りし、故人を追慕し、報恩の営みをするとともに、自分自身が聞法のご縁をいただくものです。

5月 降誕会法要

親鸞聖人のお誕生をお祝いします。松江市内の本願寺派の寺院で、毎年持ち回りでお勤めいたします。

6月～7月 門信徒総会

門信徒の皆さまにお集まりいただき、順光寺の活動や運営について協議を行います。

8月 盆前境内大掃除

ご門徒の皆さまと一緒に、本堂・境内の大掃除を行います。

10月 報恩講（ほうおんこう）法要

浄土真宗の教えをお遺しいただいた宗祖親鸞聖人のご遺徳を偲び、お聴聞をさせていただきます。浄土真宗の寺院では年間を通して一番大切とされる行事です。



境内の菖蒲



第16代住職が本堂の脇に植えた菖蒲の花（写真左）。毎年6月頃に色とりどりに咲き誇り、順光寺の夏の風物詩です。

本堂余間の襖絵は、この菖蒲の花を描いたもの（写真右）。戦後の松江の美術振興に尽力した日本画家・安達不伝氏の作品です。